

# 令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

当園ではこの度、令和2年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

身体も心ものびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。

きちんとした価値観やモラルを心を身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育するうえでは、「徳育、知育、体育、国際化（英語教室）」の4つの理念を大切にし、その中で息づく「こころ」を育てる教育を教育を実践しております。

きちんとしたモラルの心を身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育てていくよう、教諭、講師、職員の力をあわせ、お子様たちの保育をすすめてまいります。

## II. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上      ●教職員間の連携強化      ●安全管理体制の充実      ●園全体の発展

## III. 自己評価項目と取組み状況

| 自己評価項目 |           | 取組み内容                            |   |
|--------|-----------|----------------------------------|---|
| 1      | 教職員の資質向上  | 子どもにとってよりよい教育のためにどのような取組みをしましたか？ | B<br>学年でこまめに話し合い、情報共有や積極的な相談の機会を作った。注意するときもほめる時も理由を一緒に伝えるよう工夫した。<br>個性を大事にし、一人一人の生徒に合わせたコミュニケーション・保育を実施した。インターネットで教材や制作内容などを調べ、子供が意欲をもって取り組めるようにした。 |
| 2      | 教職員間の連携強化 | 会議や終礼等の情報共有によってどのような取組みをしましたか？   | B<br>朝会・終礼でクラスの様子や職員間での共有事項をしっかりと伝えることができた。気になっている子供の話をしたり自分のクラスでのうまくいったこと・いかなかったことを話して、保育に役立てた。園のことで気づいた点やみんなが考えた方がよいことについては提案し意見を求めるようにした。        |

# 令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

| 自己評価項目 |           | 取組み内容   |   |
|--------|-----------|---|---|
| 3      | 安全管理体制の充実 | 子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。 | B<br>訓練を重ねることで、年度後半には放送が入るとすぐに避難対応することが出来てきた。子どもたちも放送が入った時には耳を傾け、その内容に応じて行動することが出来ている。定期的に避難訓練を行うなかで、その回数や方法が適切であるか振り返り検証し、確認しあうことが出来ている。避難訓練はそれぞれ地震、火災、不審者対応と毎回異なるケースで実施し、訓練後は教室で振り返りの時間をとることが出来ている。訓練の都度再確認することで反省点を活かし、子ども達も避難訓練を意識するようになってきた。 |
| 4      | 園全体の発展    | 園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。                             | B<br>この1年で成長したという意見があり、嬉しく感じた。成長したことなどを記入してくれている保護者が比較的多く、意欲が高まった。英語やプールについては子供の興味があるかないかによって評価が分かれてくるのを感じた。職員が全員のアンケートを見ることでこんな風に思っている人がいるんだと共有理解できた。  |

### 【評価の基準】

|   |                   |
|---|-------------------|
| A | 十分達成されている         |
| B | 達成されている           |
| C | 取組まれているが、成果が十分でない |
| D | 取り組みが不十分である       |

## IV. 今後取り組むべき課題

|   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 教職員の資質向上  | 他の園の様子などを参考にすると、今までの活動にとらわれず視野を広げようとする。自分のクラスの子供たちだけでなく、ほかのクラスの学戦の子供たちにも積極的に関わっていく。予定を絵で示し、わかりやすく心掛けていくが、予定以外のところにも「絵」でわかるものを用意しようと思う。                              |
| 2 | 教職員間の連携強化 | 学年間や全体の活動について全体で話をしたりチーム会をする機会をもう少しこまめにしたい。パートの先生にはなかなか伝達できていなかったこともあるので工夫して伝えていく。同学年でのミーティングの時間をとるのに短い時間しかとれていなかったため短時間でも時間を取れるよう工夫したい。終礼・会議の内容を記録としてノートなどに残してほしい。 |
| 3 | 安全管理体制の充実 | 避難訓練ではいろんな時間場所での訓練が必要ではないかと思う。担当がトイレにいたり、部屋を離れた際の対応の練習をした方がよいと思う。毎月の訓練で子どもたちが慣れてしまっているため1回1回を真剣に取り組むよう声掛けしていく。  |
| 4 | 園全体の発展    | 英語については指導内容などを情報共有した方がよいのではないかと思う。挨拶については促すことも大切だが、保育者がもっと積極的に手本を示していかなければならない。もう少し、電話やメモなどで普段の様子をお伝えできたらよかった。英語の手遊びなど身近でできることを保育の中で取り入れたい。                         |

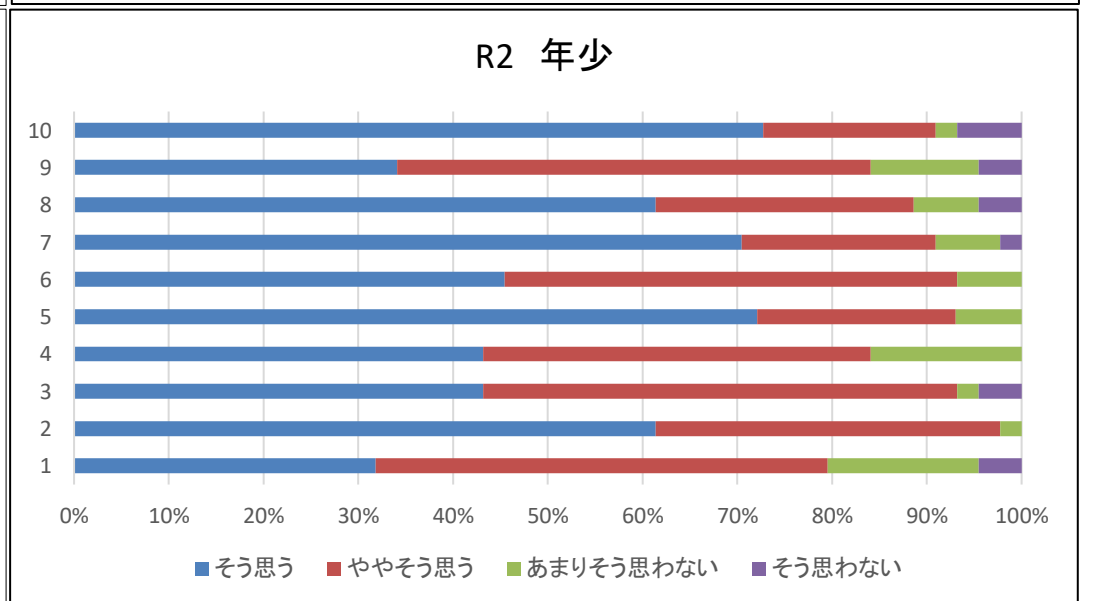
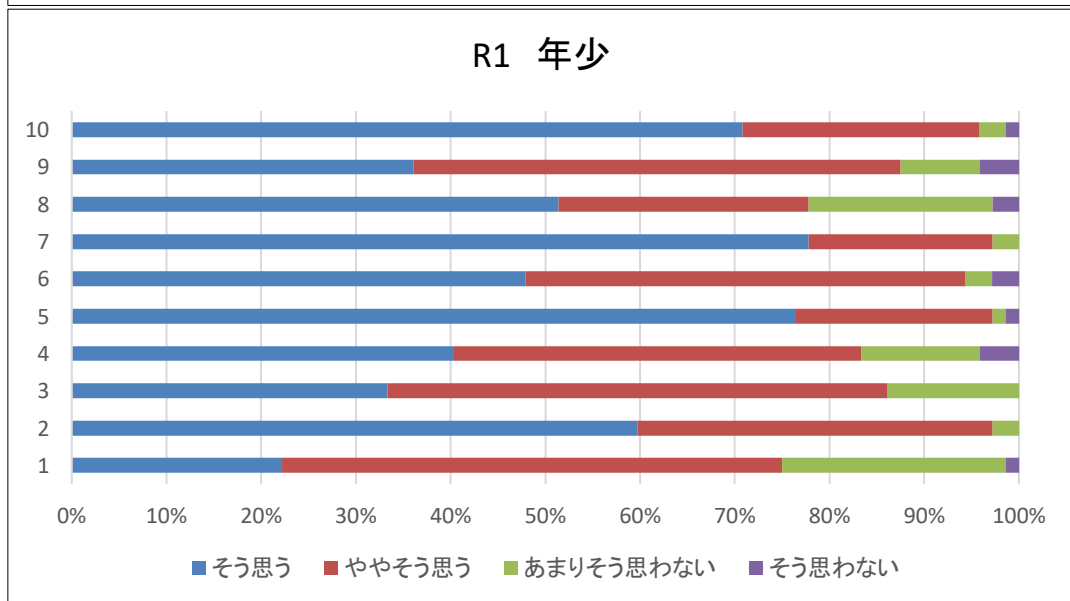
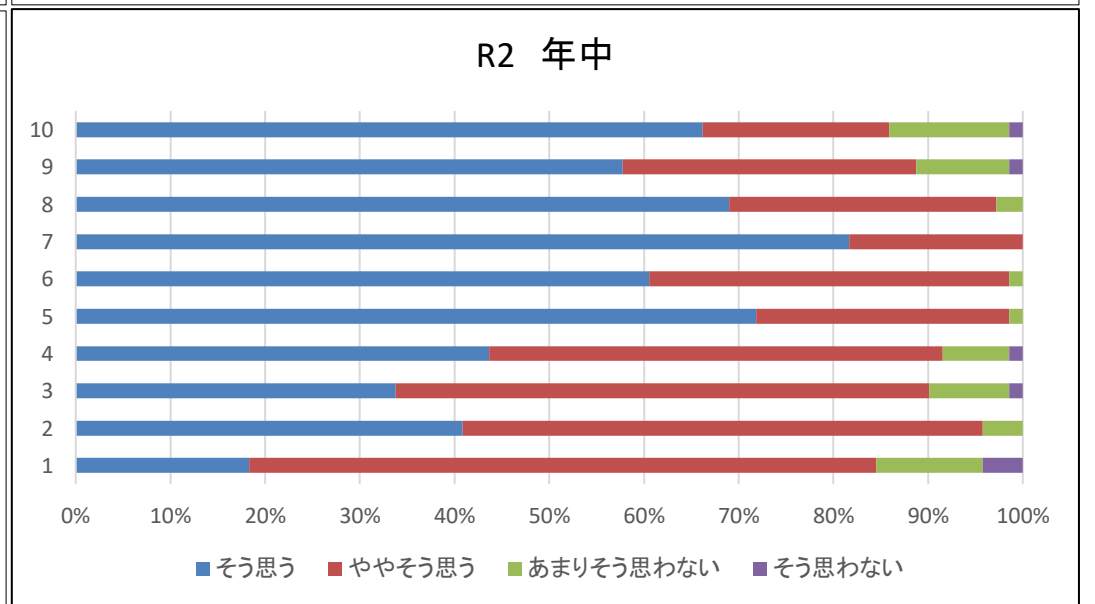
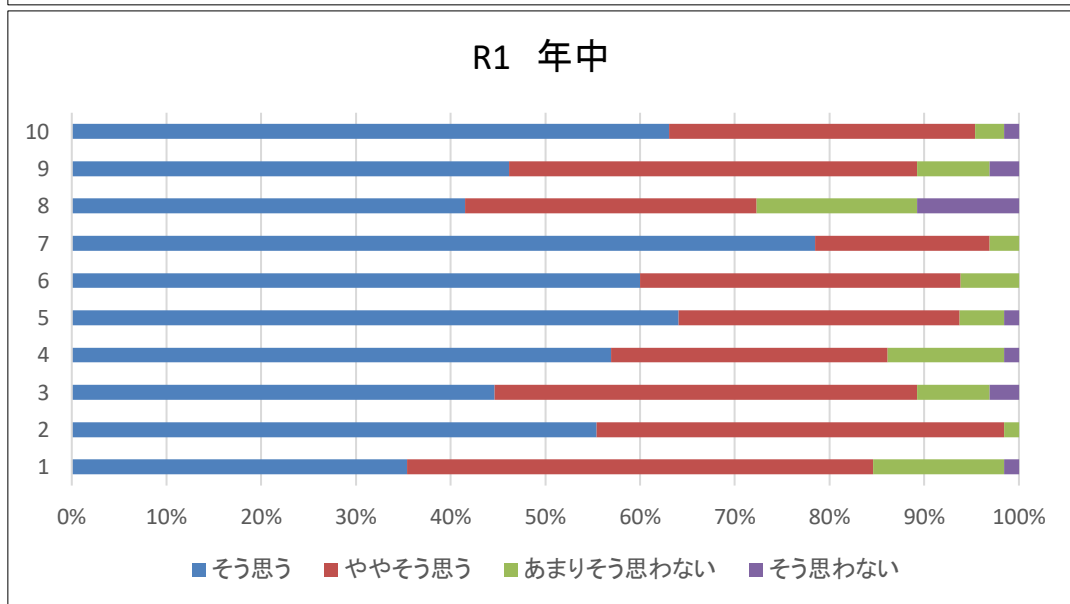
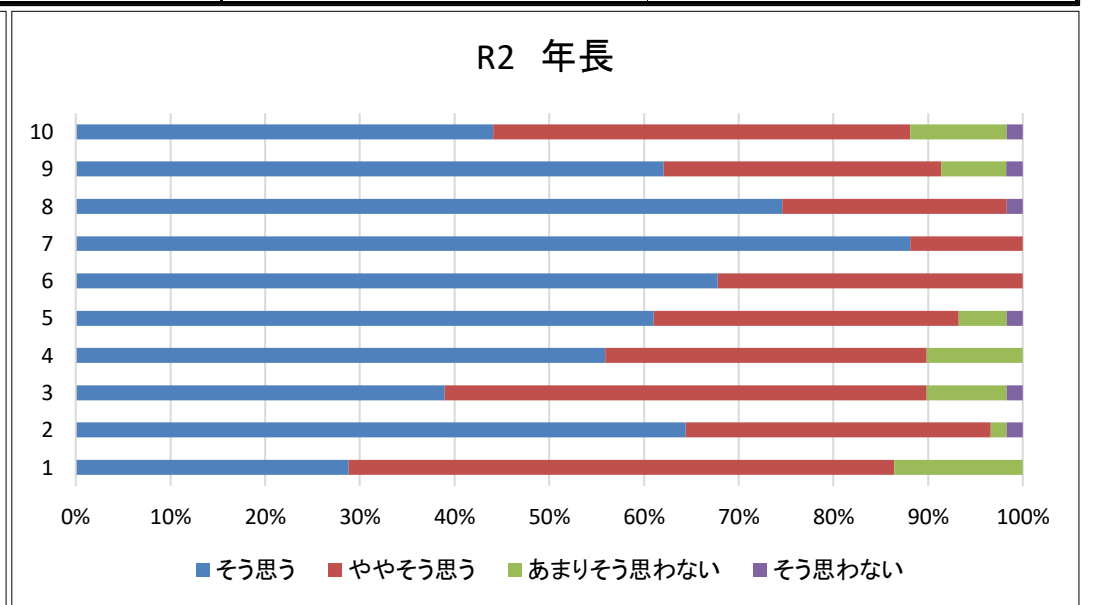
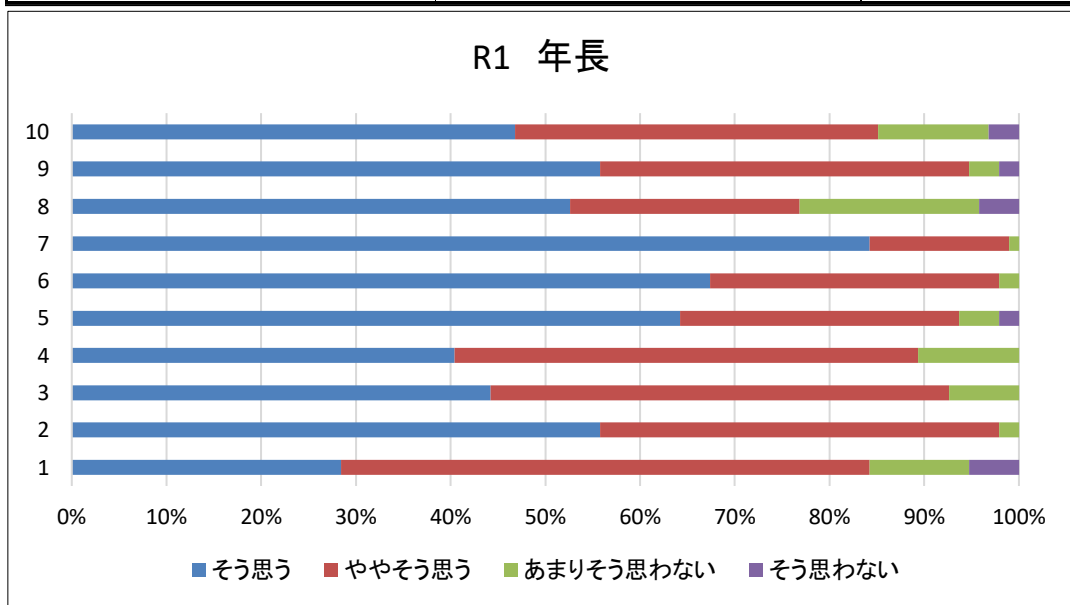
# 令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

## V. 保護者アンケートの結果

### ■アンケートの集計結果

| 質問1  | 質問2  | 質問3                            | 質問4                                  | 質問5                                 |
|--|--|--------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など) | お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？                    | お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？ | お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？         | お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうという姿勢が見られますか？ |
| 質問6  | 質問7  | 質問8                            | 質問9                                  | 質問10                                |
| お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？                  | お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、一輪車、ボールなど)を楽しみにしていますか？ | お子さんは、プール活動を楽しみにしていますか？        | お子さんは、体育活動やプール活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？ | お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？        |



## 令和2年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

### ■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

◇項目1  
挨拶については「誰にでも自分から」というところで評価ができていないと思われます。家庭では恥ずかしさや戸惑いを感じることもあっても、園での生活の中では挨拶はできていますのでどんな環境の中でも自分から挨拶をする積極性を引き出せるよう指導していきます。

◇項目2  
ほとんどの子どもで良い結果が出ていることは子ども達の感受性の豊かさを感じられているようです。子どもにしか感じられないような表現をしたりします。特にこの年代の感受性を見逃さずいろんな環境でさらに育ていけるように見守っていきます。

◇項目3  
一人ひとりの個性や学年の差はありますが、幼稚園では指導の中で目を見て話す、聞くことを伝えていることが結果に表れたのだと考えられます。これからも園とご家庭で実践することでさらに良い結果につなげるようにしていきます。

◇項目4  
全体的に良い結果が出ていて嬉しくおもいます。幼稚園での当番活動やお手伝いを通じて役に立つ喜びや楽しさ、やりがいを実感したことでご家庭でも進んでお手伝いができるようになっていきたいと思います。褒められ認められる喜びを実感できるように指導し、ご家庭へのお手伝いへつなげていくようにします。

◇項目5  
全学年で良い結果が出ています。週1回の貸し出しで持ち帰る絵本をしっかりと読み聞かをしていただいている保護者の皆様の協力の賜物によるものだと思います。当園のこども文庫3千冊以上の蔵書に触れ合う機会を出来るだけ多くしていくようにします。

◇項目6  
全学年とも集団生活のなかでルールを守る大切さが身に付いています。子どもたち自らルールを理解し規律を守る大切さを徹底しより一層丁寧に取り組んでいきます。

◇項目7  
全学年で良い結果が出ています。体育講師と連携を密にし体育を通じての体力づくり、一輪車や鉄棒など目標に向かって個々に取り組み達成感を味わえるようにし、体育活動の過程から競争、協力そして達成感を感じてもらえるように実践していきます。

◇項目8  
今年度コロナウイルス感染拡大の影響により登園が不安定になり子ども達の園生活のリズムが取りにくく感じる事がありました。行事もいつもと違う形で行ったりしましたがその中で保護者の皆様のご協力もあり無事終えることができました。今まで以上に子ども達が幼稚園に来ることを楽しみにできるように取り組みます。

◇項目9  
学年によって差がありますが、特に今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、水泳指導では十分な指導ができず、大変ご迷惑をおかけしました。来年度もまずは子どもたちの命の安全を最優先に取り組んでいきます。

◇項目10  
年長、年中では評価が出ていますが年少は少し下がっているのが残念です。年長ではアルファベットを書くことにも興味を持ち取り組むことができました。歌やゲームなど楽しく学んでもらえるようカリキュラムを工夫していますが、さらに興味を持ってもらえるように工夫していきます。

### VI. 学校関係者の評価

教員間での共有ができているおかげで担任の先生以外の先生も子どもたちのことを知っていてくれ、声掛けや一緒に遊んでくれるので楽しく過ごすことができています。

苦手なことがあったとき、子どもの性格に合わせて先生に対応して頂いたおかげで、できないことが色々できるようになりました。

給食を園で調理するようになってから、とてもおいしくなったようで、苦手なものも少しずつ食べられるようになりました。

体育の外部講師として関わらせて頂いていますが、先生方の子どもとの関わり方はとても勉強になります。体育で培った技や課題を自由遊びの園庭で子どもと一緒に取り組む姿は多々見受けられました。

「教職員の資質向上」を体育に置き換えても素晴らしい評価だったと思います。

運動会で頑張った子ども達へのプレゼントを体育遊具に変え、ご褒美としてもらうことで年長児は粘り強く縄跳びを練習。年少児もパカポコを朝の自由あそびでみんなと一緒に楽しんで行っており意欲的に取り組んでいる姿を多く見ることが出来ました。

以上